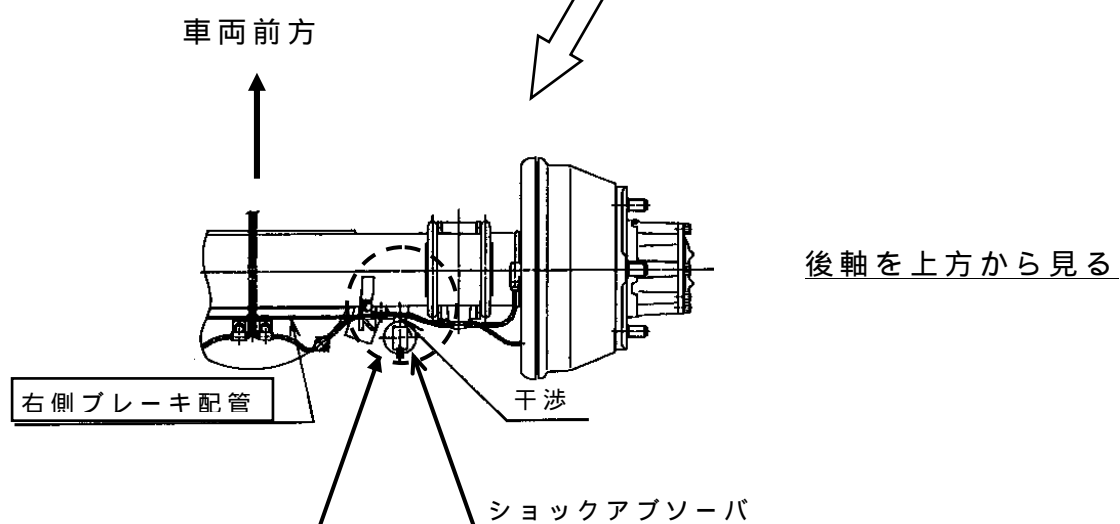


改善箇所説明図



後軸の右側ブレーキ配管の取りまわしが不適切なため、走行中にショックアブソーバと当該ブレーキ配管が干渉するものがある。

そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ブレーキ配管が損傷し、最悪の場合 ブレーキ液が漏れ、制動力が低下するおそれがある。

改善の内容

全車両、後軸の右側ブレーキ配管の対策品への交換有無を確認し、対策品が未装着の車両は対策品と交換する。

注：□は、交換部品を示します。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラーストライカー付近に「LT-15」の文字が記載された黄色シールを貼付ける。